

りおめ〜るweb vol.4 2012.6

リオネット補聴器の最高峰

リオネットマジエス誕生

新たなる聞こえの感動へ
RIONETMAJES
リオネットマジエス



試して頂きたい
機能が満載

ブライツサウンド

補聴器の帯域を12kHzの高い周波数まで広げるので、より音の広がりを感じることができます

おまかせスピーチ

360°の範囲で音声を検出し、騒音を抑制することで、どの方向からの音声も聞き取りやすくします。(HI-C1M・HI-C2Mを除く)

おまかせサウンド

あなたの使用環境や使い方を学習し、様々な音環境に適した聞こえを提供します。

リモコンで広がる快適ライフ

シンプルリモコンⅡで簡単に音量調節とメモリー切替を、プレミアムリモコンⅡではそれに加えてBluetooth通信もできます。



プレミアムⅡ

シンプルⅡ



リオネットセンター博多の松本です。ずいぶん暖かくなりました。博多はもうすぐ山笠の季節です。豪華絢爛の「山」、豪快な追い山をぜひ見に来てください。

6月6日は補聴器の日 6.6



STの部屋

ST：言語聴覚士

リオネットセンターには、認定補聴器技能者の他に、言語聴覚士も在籍しています。このコラムは言語聴覚士のコラムです。

動物の聴力

6月6日は「補聴器の日」ですね！マスコットのロロくんを見ていると、ゾウの耳は人間と比べてとても大きいけど、いったいどれくらい聞こえが良いのだろうと疑問が湧いてきました。

そこで、調べてみるとゾウの耳が大きいのは音を聞くことと別の理由もあって、耳をパタパタと動かして風に当てることで車のラジエーターの役割をしているそうです。聞こえに関してもおもしろいことがわかりました。アフリカゾウは遠くのゾウの声を足で「聞き分けて」いるのだそうです。

ゾウは人間には聞こえない低周波音で会話しており、鳴き声は最大112dBもの音圧があります。会話距離は50km、大気の状態が良い時には100kmともいわれています。その声は地面の揺れとなって伝わりゾウの足で捕らえられます。ゾウの足の裏は非常に繊細であり、そこからの刺激が耳まで伝達されます。雷の音や遠く離れた地域での降雨を認知できるのはこのためではないかと考えられます。

また、ゾウのように低周波音を出す動物もいれば、逆に高周波音(超音波)を発する動物もいます。有名なのは、コウモリやイルカです。コウモリやイルカは超音波を発して物体からの反射音を聴き、周囲にある物体の空間的な位置を判断しています。

音源から発せられた音は、直接耳に伝達する直接音と障害物で反射してくる反射音があり、その音圧差、位相差、時間差から障害物までの距離や方向が検知できます。さらにイルカは獲物の魚が出す音を自ら出し、その音を使って逆に誘い寄せることもできます。

これらの動物と比べると私たちのヒトの聞こえの範囲は20Hz～20000Hzと狭いですが、新製品のマジエスは「ブライツサウンド機能」や「おまかせスピーチ」などの新機能が付加されました。ゾウのように遠くの音までとはいきませんが、ぜひ音の広がりを体感し、方向感知をしてくださいませ！！

